

# 第16回サクスフォーラム

まずは、「アウェア(気づく)」が大切です

## DVと児童虐待

## 「力と支配」からジェンダー平等へ

「デートDV」や「面前DV」という言葉を聞いたことはありますか？

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者間の暴力のことです。

女性の約4人に1人、男性の約5人に1人は、DVの被害経験があります。

実は身近に起こっているDV。

コロナ禍で女性に男性に子どもに何が起こったのでしょうか？

まずは、「アウェア(気づく)」が大切です。

DVと性差別のない社会を目指して活動しているアウェアのおふたりから、DVや児童虐待についてお話しいたします。

2022年

12月3日(土) 13:30~15:30  
(開場13:00)

穎田交流センター別館 (旧サンシャインかいた)

対象 どなたでも

定員 200人 (申込不要)

参加費 無料

手話通訳 有 

託児 有(6ヶ月児~小学校低学年)

無料・要申込・5名程度

申込締切：11月25日

※申込については裏面をご覧ください。

講師

やまぐち のりこ

山口的り子さん

(アウェア代表・東京都在住)

しけんばる いくこ

志堅原郁子さん

(アウェア副代表・北海道在住)

※ 新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法が変更になる場合があります。

※ 入場される方はマスクの着用、手指消毒、検温のご協力をお願いします。

# 講師プロフィール / 講演内容

## 山口のり子さん DV被害者支援と加害者プログラム

(アウェア代表・東京都在住)

2002年に「アウェア」を開設し、DV加害者向け教育プログラムを始める。  
2003年から若者向け防止教育に取り組み、「デートDV」という言葉をつくり、本を出版してその言葉、概念、防止教育を広める。  
ジェンダー平等・公正社会の実現がライフワーク。



## 志堅原郁子さん DVと児童虐待

(アウェア副代表・北海道在住)

NPOピーチハウス（札幌）を拠点に、ジェンダー対等性の視座から暴力未然防止と女性エンパワメント活動を行う。  
暴力を選ばない・選ばせない意識と社会環境づくりに軸足を置き、幼児から大人までを対象に主に教育機関で講座を提供している。



### アウェアは

**DVと性差別のない社会を目指して活動している民間団体です。**

活動には4つの柱があります。

- (1) DV加害者プログラム (2) DV被害者プログラム
- (3) デートDV防止プログラム (4) ジェンダー平等プログラム



## DVと児童虐待「力と支配」からジェンダー平等へ 託児申込書

ふりがな 氏名						
電話番号	TEL	—		—		
お子さんの 情報	子どもの名前（ふりがな）			子どもの名前（ふりがな）		
	性別 ( )	年齢 歳	ヵ月・ 年生	性別 ( )	年齢 歳	ヵ月・ 年生

※申込時にいただいた個人情報、本事業以外には使用いたしません。  
※フォーラムが中止になった場合などに、ご連絡することがあります。  
電話番号は必ずご記入ください。

託児申し込み  
問い合わせはこちらから⇒



事務局・問い合わせ

飯塚市男女共同参画推進センター(サンクス)  
TEL 0948-22-7058  
FAX 0948-22-3609  
E-mail : sunkusu@city.iizuka.lg.jp

### 穎田交流センター別館

(旧サンシャインかいた) 飯塚市鹿毛馬2328-2

